

# NEWS LETTER

株式会社人財アジア 定期ニュースレター

vol.23

岡村の最近の注目ニュース  ビジネス予備校近況レポート  B-EAT 会活動報告  What's up?

2022年09月

# 2022/09

いつ始めても  
遅すぎることはない。

## " 経営とは最大の相場投資である " が私の持論です。

日々健全な緊張感を持ってお過ごしのことと思います。

長引くコロナによる供給不足、ロシアのウクライナ侵攻、米国経済の過熱と二極化による社会不安、日本での銃撃事件と貧困化、世界的住宅バブルの部分的崩落等々、リーマンショック以降、人為的に作られてきた経済的繁栄が、大きく揺さぶられ綻び始めています。

**EATで資産運用を学んだ皆さんは、ドル円相場の動きの激しさを注視しているでしょう。**

**今野先生の手作りのテキストを再度開いて下さい。**

2015年 EAT ビジネス予備校開校時より、日米の経済的底力の格差をデータで示し海外投資の有効性を指摘、長期的なドル高円安相場を予想していました。今年の円安相場では140円で止まる理由が見つからないといち早く出したコメントが的確でした。日々の数字の変化を緻密に追い求め（定点観測）、超長期的な構造変革を重ね合わせることで予測力（相場観）を高めています。

今回の円安の原因を、日米金利差だけにとどめては短期的かつ表面的すぎます。昨年から急に日本の個人による海外株式投信購入が積極化し年間10兆円が海外流出、構造的に自給率の低い日本がエネルギー価格上昇等をきっかけに貿易赤字体質に転換等に目を向けて頂きたい。長短両材料を追い、潮流の変化を読みとれ！の実践です。

**“予想外はあっても想定外はなくせ！”**が今野先生の教え。急激な市場変化に慌てふためくことなく、前広にリスクとチャンス洗い出しマネジメント能力を発揮されることを願います。

ドル円が一方向的に上昇を続けるかは要注意です。相場では思い込みが命取り。私が機関投資家にて為替課長をしていた98年、財務省・日銀が盛んに円買い介入を仕掛けましたが一向に利かず、147円までドル円が上昇。ところが、介入効果をあきらめた頃に、米国LTCMショックが発生し、わずか2日で20円の円高となりました。背景は、ノーベル経済学賞受賞者構築の運用システムに対する米国金融機関の過信、レバレッジ100倍の異常な投機の流動性危機による破綻です。ドル安の結果としての急激な円高に、世界の金融市場が混乱し、事業会社も大きな影響を受けました。

**“経営とは最大の相場投資である”**が私の持論です。米国MBAにて、業種を問わず幹部候補が金融資本市場を徹底的に学ぶ意義を噛みしめたい。

為替市場経験から思うのは、相場を動かすほとんどの要因が良くも悪くも米国発なこと。日本は？と言えば、政治的弱さが我々国民全体を映す鏡と考えれば、大きな状況変化は当面期待しにくい。海外に目を向け、世界視線を身につけた者がリスクをコントロールしチャンスをつかみます。増加し始めた海外投資は視線を高める貴重な第一歩。気になる国、気になる銘柄を2つ、3つ選んで追い続けましょう。まさに個の力を発揮すべき時！**自分の人生の先に備え“想定外をなくす”**ことが、**日本のマクロを復活させます**。夜明け前が一番暗い。本日寄稿くださった藤代さんはEAT ビジネス予備校東京第二期卒業生です。40歳そこそこでUBSアセットマネジメント取締役に就任しながら、ITリテラシーの更なる向上に挑戦。20年後をにらんでいまの自分を作り上げる姿に大いに勇気づけられています。

今後20年の計を立てる

ますます複雑で不安定な世界で、日本はどのような位置にいて、どんな役割を果たすことができないのだろうか。残念ながらジャパンアズナンバワンはすでに一昔前となってしまったが、ビジネスパーソンは今一度冷静に世界の中の日本を俯瞰的に見て、それぞれが今後20年の計を立てるべき時だと感じる。

ベースの名目GDP\*は14%台後半。それが2020年には、株式時価総額は6〜7%程度、名目GDPは5%台後半にまで減少した。2021年のUSDドルベースの一人当たりGDP\*\*で見て、約4万USDと円安もあり28位となっている。

アジア太平洋地域の一部

まずは数字から見てみよう。筆者の働く資産運用の世界では、かつて日本のマーケットの存在感は大きく、株式時価総額\*では2000年代前半には世界の11%程度をしめた。USD

これはグローバルカンパニーの地域マネジメントにも表れている。筆者は社会人生活の最初の4年を日本の金融機関で過ごし、そのあと5年半を英系の13年をスイス系の資産運用会社で働いてきた。18年を超える外資

い仕事を顧客に提供できなくなっている。完全に域内の社内サプライチェーンに組み込まれている。今後も、労働人口減少などの国内問題に加え、中国の台頭といった外的要因もあり、単純に日本の経済規模が世界比で拡大していくことは容易ではないであろう。一方で、日本的な強みはも

の唯一の後悔だ。他方、そういった機会の実現が難しい方々は日本語のできない外国人の友人を作ることをお勧めする。無理にでも英語を話し、相手が何を言いたいのか、どういえば伝わるのか、どんな例が相手には身近かかなど真剣に考えることが彼の違いを客観化してくれる。考え方の違いは、一朝一夕で体得できるものではない。異文化と一口にいつても無数にある。身近な国や友人からスタートし、数年から10年、20年かけて世界を相手に活躍するにはという目標でキャリアを築いていくことが肝要だ。

海外で学ぶ・働く

系勤務の中でも、世界の中での日本の立ち位置の変化を身近に感じる。2000年台の前半までは、日本人の収益が二けた%を超えている外資系の資産運用会社も多く、アジア太平洋地域は、「日本」と「アジア太平洋除く日本」に分けてマネジメントすることが普通であった。日本でフロントからバックまで業務をほぼ完結することができ、従業員を採用する際は、英語よりも仕事ができるかとよく言ったものだ。だが昨今では、日本は

異文化に触れ理解するには、やはり海外で暮らすことが一番だ。海外で学ぶ・働くという機会があれば、ぜひそれを手にしていただきたい。一般的には若いほうが制約は少なく、30代までのビジネスパーソンには真剣に考えていただきたい。これまで海外に住む経験のない筆者にとって、キャリアあるいは人生

外学のすすめ

UBS アセットマネジメント株式会社  
取締役  
ジャパン・オペレーティング・オフィサー  
藤代 真 氏



アジア太平洋地域の一部となり、英語で域内あるいは欧米の同僚と一定レベルでコミュニケーションができないと、運用、分析あるいは間接的に人事やITといった業務の一部が滞り、良

シオンが成立する。海外で学ぶ・働く

\*UBS アセット・マネジメント調べ  
\*\* Department of Economic and Social Affairs Statistics, United Nations  
\*\*\* WORLD ECONOMIC OUTLOOK DATABASES, International Monetary Fund

What's up?

社長何か変わりましたね、とよく言われます。

当時 53 歳の私がなぜ研修を受講する事になったかを話したいと思っています。私の場合は、グローバルな思考や株価などの運用面に関して不足していると感じており、会社がホールディング化して販売会社の社長を任命され、その責任感から自分のためにも社員のためにも、もう一度勉強しようと思ったことがきっかけでした。



松崎 賢吾  
KENGO MATSUZAKI  
EAT ビジネス予備校  
福岡クラス (5 期生)  
株式会社丸菱北部九州販売  
代表取締役社長

1 年間の研修を通じて、物事に関してその内容の本質とは何かを考える習慣を身につけた事が一番大きかったと感じております。研修で学んだ内容は、自分の会社に合うようにカスタマイズして即実践する事を心掛けております。自分が今後どうしたいか、何をやるべきか真剣に考えたい、又はもっと成長したいと思う方は EAT ビジネス予備校をお勧めします。私は、研修を受け始めて「社長何かかわりましたね」とよく言われます。最大の誉め言葉として受け取っております。

B-EAT 次回イベント、講演者のご紹介

2022年10月24日(月) 20時~@オンラインにて

株式会社 NTT データ  
第三金融事業本部 保険 IT サービス事業部 事業部長  
佐々木 悟 氏

公共、金融の大規模かつ高難度のプロジェクトリーダーを歴任し、多くの問題プロジェクトの収束経験も豊富です。卓越したマネジメント経験と最新デジタル技術を活用し、第一生命「健康第一」プロジェクトといった顧客事業改革を牽引しました。現在は保険業界向け事業の責任者として、困難な状況の元、メンバーと向かうべき方向性をあわせて推進していくことを大切に事業運営しています。Sler 業界の領域を超えたマネジメントの本質をお聴きします。多くの学びがあること間違いなしです。